



2023年10月18日

乳の学術連合

一般社団法人Jミルク

ミルクの価値再発見!最新研究 26 題発表 11月12日に学術研究集会「コンGRES 2023」

牛乳・乳製品や酪農乳業に関わる研究者や専門家らで構成する「乳の学術連合」とJミルクは、11月12日(日)に東京大学伊藤国際学術研究センター(東京都文京区)で、最新の知見や研究成果を発表する学術研究集会「ジャパンミルクコンGRES 2023」を下記の要領で開催します。

学術連合では、さまざまな立場の研究者や専門家らが、乳の健康栄養面の価値解明や社会・文化的な意義の解明、乳の価値や意義を人々に伝えるための食育など、多様な研究活動を行っています。その研究成果を酪農乳業関係者向けに発表します。口頭での発表4題とポスターを使った発表22題の計26題を発表予定です。

記

- 名称：ジャパンミルクコンGRES 2023
- 日時：2023年11月12日(日) 12:30~15:45 (受付11:30~)
※情報交換会 16:00~17:30
- 会場：東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール、多目的ホール
東京都文京区本郷7-3-1 東京大学伊藤国際学術研究センターB2
- 主催：一般社団法人Jミルク、協力：乳の学術連合
- 主な参集範囲：乳の学術連合会員、酪農乳業関係者、医師、栄養士、学校教職員、研究者、メディア・ジャーナリストなど
- お申し込み方法：下記のQRコードまたはURLよりお申し込みください。

URL：<https://event.event-planner.net/#/c3vnfc4j>

お申し込み締め切り：2023年11月1日(水)

- 参加定員：250名(定員になり次第締め切り)

■ 当日プログラム（予定）：

12:30	開会、主催者あいさつ	
	口頭発表①（関連学会特別報告、牛乳乳製品健康科学分野）	
12:45	量子ビームを利用した小角散乱法による牛乳及びチーズ中のカゼインミセルの構造解析	
～	高木秀彰	高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所放射光実験施設助教
13:35	高血圧を有する被災住民における乳製品摂取の有用性の検討	
	宮川尚子	慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学助教
13:35	休憩	
13:45～	ポスター発表（22題の研究発表＝テーマは下記）	
14:45	休憩	
	口頭発表②（乳の社会文化分野、食と教育分野）	
14:55	中国酪農における非メガファーム経営の存立構造	
～	清水池義治	北海道大学大学院農学研究院基盤研究部門農業経済学分野准教授
15:45	SDGsの視点を取り入れた食育のコンテンツ開発の研究－食材を通して 特に乳を中心について	
	石井雅幸	大妻女子大学家政学部児童学科教授
15:45	閉会（終了後、隣接ホールで情報交換会）	
16:00	情報交換会	
17:30	終了	

ポスター発表の研究者・テーマ（9月末時点での予定）

牛乳乳製品健康科学分野 10題	牛乳・乳製品の摂取に関連したサルコペニア予防作用を有するメタボライトの特定	
	岡村拓郎	京都府立医科大学大学院医学研究科内分泌・代謝内科学病院助教
	エクソソームの簡便定量法による乳製品の新規機能及び規格の構築	
	竹森洋	岐阜大学工学部化学・生命工学科教授
	乳児期のビタミンD投与による腸内細菌叢変化に α ディフェンシンが及ぼす影響	
	中野泰至	千葉大学医学部附属病院小児科助教
	離乳期における乳製品の摂取が花粉症予防に関与するメカニズムの解明	
	山崎輝美	金沢大学ナノ生命科学研究所特任助教
	牛乳及び乳製品はコリン化合物摂取に役立つか？	
	大久保剛	仙台白百合女子大学人間学部健康栄養学科准教授
地域在住高齢者における牛乳・乳製品の摂取とサルコペニア発症との関連		
木村安美	広島修道大学健康科学部健康栄養学科教授	



	小児期の牛乳乳製品の摂取、腸内環境および呼吸器感染との関連性の検討
山川路代	岐阜大学大学院医学系研究科疫学・予防医学分野助教
	チーズ熟成カビが産生する新規生理活性物質の探索
竹田志郎	麻布大学獣医学部動物応用科学科食品科学研究室准教授
	ACE2 発現に注目した腸内環境改善による新型コロナウイルス感染に伴う重症化予防の検討
後藤孔郎	大分大学医学部附属病院内分泌・糖尿病内科講師
	牛乳摂取ならびにビタミンD 併用摂取によるサルコペニア、ロコモ、フレイルへの影響に関する研究
松井康素	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター・ロコモフレイルセンターセンター長

乳の社会文化分野 5題	酪農に関わる女性の経営参画および社会参画の現状と課題—岡山県の酪農地域を事例として	
	大竹晴佳	大阪学院大学非常勤講師
	モンゴル国カザフ牧畜民における乳の食文化的意義に関する考察—乳加工技術から乳製品の食利用まで—	
	廣田千恵子	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター学振特別研究員
	ラクダの生命誌（バイオグラフィー）からみた乳をめぐる価値創出の技術とプロセス—中国内モンゴル自治区アラシャー盟の事例から	
	WU WUYUNGA	総合研究大学院大学文化科学研究科比較文化学専攻博士後期課程
	規模拡大が家族酪農経営のソーシャルキャピタルに及ぼす影響の実態分析	
	小林国之	北海道大学大学院農学研究院准教授
	近代日本の玄米菜食主義と牛乳	
尾崎智子	龍谷大学農学部講師	

食と教育分野 7題	幼児を対象とした「乳」に関する理科読プログラムの開発と実践研究	
	大貫麻美	白百合女子大学人間総合学部准教授
	牛乳が苦手な未就学児を支援するサペレメソッドを用いた R&R 体験型食育プログラムの開発	
	河口八重子	独立行政法人国立病院機構京都医療センター臨床研究センター予防医学研究室研究員
	中学生の官能検査と呈味成分変化の関連性～科学的手法による「牛乳のテイスト・マップ」の作成の試み～	
	大橋弘範	福島大学共生システム理工学類准教授
	韓国と日本の食育における牛乳・乳製品の価値観について～健康寿命の延伸をめざすヘルスリテラシー教育の現状と課題～	
	今中美栄	島根県立大学出雲キャンパス看護栄養学部健康栄養学科教授
	家庭の健康的な食生活実践に及ぼす学校給食の教育的価値～牛乳・乳製品を題材として～	
成瀬祐子	松本大学人間健康学部健康栄養学科専任講師	

大型スポーツ選手の代謝異常改善のためのオンライン栄養教育による介入効果の検証	
田中智美	城西国際大学経営情報学部非常勤講師
「強いアンチミルク意識」に効果的なオンライン教材の開発～教材設計理論による効果の差異	
山本輝太郎	金沢星稜大学講師

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
一般社団法人Jミルク 学術調査グループ 間弓
東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 お茶の水ユニオンビル 5階
電話：03-5577-7494